**令和５年度第４回運営推進会議議事録**

日　　　時：　令和５年１１月２８日（火）、２９日（水）

会　　　場：　書面会議（地域住民の代表１０名、利用者家族２名には事前に会議資料送付し電話での会議）

出　席　者：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 利用者家族 | ２名 | 出雲市役所様 | 1名 |
| 地域住民の代表 | １０名 | その他（ホーム長・専務） | ２名 |
| 欠席 | １名 |  |  |

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

**１．当施設の取り組み**

* 1. 笑ってもらうこと・季節を感じること
  2. 「したい！」と感じる企画の立案
  3. 地域とのつながり
  4. 永年勤続表彰

**2**．**研修の実施**

①高年齢勤労者のための安心・安全な職場環境の構築

**３．ご家族との認知症ケア勉強会**

①第３回勉強会～終末期におけるケア～、～認知症リスクと予防～

**４．おわりに**

（出雲市役所様のご意見）

・施設での販売を初開催されたとのことで、利用者さんもお喜びになったと思います。施設や

グループホームに入って集団での生活をすると、何かを自分で選択する機会がどうしても減ってしまうと

思います。何かを選ぶことは生きる楽しみにつながると思うので、ぜひこれからも利用者さんの「したい！」

をそそる企画の立案を大切にしていただければと思います。

・グループホーム萌さんでは、平成２９年から定年制を７０歳とされたとのことですが、６０歳以上の

職員さんは何人くらいおられますか？

⇒（専務より）全体の職員の４０％です。全職員１５名のうち６名が６０歳以上です（令和5年11月時点）

令和6年３月見込みでは、現在の採用状況から３１％に下がる見込みです。（入退社があるため）

・職員さんの年齢によって配慮していることがあれば教えてください。

⇒（専務より）働き方の声を聞き、状況によっては都度働き方の内容を変更しています。例えば、職員自身の

身体状況（腰の痛みなど）や親の介護など、状況に応じて勤務時間の変更や休暇日数や休憩時間を増やすといった配慮はしています。現在は一人ひとりの職員へ個別に対応していますが、今後の課題としては一定のルール作りも必要かと考えています。具体的には、就業規則を含めた規則を設定していくことを検討中です。

（利用者ご家族のご意見）

・認知症ケア勉強会に参加しました。参加して気づいたことは、これまで自身が間違ったケアをしていたことや知識のなさ、ユマニチュードという素晴らしい技術を紹介してもらったことです。母も含めて認知症の方に対して生活レベルを落とさないように家族としてサポートしていきたいです。

　(運営推進委員様のご意見)

・全体的に企画を見ると、外でやっておられることの多さ。天候が良ければ外へ出るというのは良いですね。

そういった機会を逃さずにやっておられることが素晴らしいです。

・ショッピング企画は、よく出来た企画だと感心しました。

・外にでて地域の方と交流することはとても良いことですね。気分転換にもなりますものね。

・ファッションショーは良い企画ですね。素晴らしいです。

・荘原地区の文化祭に出かけました。萌さんの展示を見ましたが地域の皆さんが驚いておられましたよ。認知症の方もこういった仕事や作業が出来ることにとてもびっくりだと言っておられました。

・文化祭の手形アートは素晴らしい発想ですね。全ての利用者さんが繋がっていて、施設の雰囲気の良さも感じることが出来ました。

・永年勤続表彰については、世の中人手不足の中で介護の仕事は腰痛などと大変な仕事なので余計に大変だと思いますが、表彰された方も事業者側も双方に相当な努力をしないと１０年という節目を迎えることは難しいです

・永年勤続１０年おめでとうございます。１０年を迎え、一日一日の努力が一歩一歩萌をささえていらっしゃるなと感じています。

　・我々もそうですが、人の役割というのはとても大事で認知症の方もやりがいがあると思います。

・高年齢者の研修会は、現状や今後の人手不足を実感する資料ですね。今後は介護のイメージアップをはかって

働きたいと思ってもらえる環境や設備への投資も必要なのではと感じました。

・高年齢者の研修会は、役割を細かくしてやってもらうことや素人でも介護がしやすい環境を是非整えて下さい。

　・勉強会では、終末期ということでしたが、できるだけ本人の望みや悔いのないようにしていきたいですね。

　・元利用者家族として、以前認知症ケア勉強会に参加して今改めて今回の勉強会の資料を拝見すると、家族同士で話す機会がもっとあったらよかったと思ったので、是非今回を機会に続けてくださいね。

　・終末期のことを見ると、亡くなった母にもっとできたことがあったかもしれないと思いました。本人の意見をもっと聞くべきだったと感じました。